

切り取ってご利用ください

特別企画・音楽の夕べ「イーラちゃんとクリスマス vol.3」

市内在住の絵本作家しまだともみ氏の絵本「イーラちゃんといじわるツリー」(Tully's Picture Book Award 2006 最優秀賞受賞作品)を題材とした、クリスマスにぴったりの音楽の夕べを開催します。ピアノ、バイオリン、クラリネットが奏でる音楽と、すてきな語りによる絵本の世界をぜひお楽しみください。



と き: 12月23日(金・祝) 午後5時30分開場、午後6時開演
出 演: 難波益美氏(ピアノ)、専光秀紀氏(バイオリン)、うちだえーすけ氏(作曲・クラリネット)、あきやまかおる氏(語り)
入 場 料: 一般…1,500円、中学生以下…500円、未就学児…無料
定 員: 100名
入 場 券: 小杉放菴記念日光美術館、中央公民館、日光公民館で販売

◆展覧会「来日130周年 宇都宮美術館コレクションによるジョルジュ・ピゴーと日光」
会 期: 12月10日(土)～1月29日(日)
休 館 日: 毎週月曜日(祝日の場合は開館し、翌日を休館)
年末休館12月26日～31日、年始休館1月4日～6日
開館時間: 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
入 館 料: 一般…700(300)円、大学生…500(200)円、高校生以下…無料
※()内は市民割引券を利用した際の料金です。

KOSUGI HOAN
MUSEUM OF ART,
NIKKO
小杉放菴記念日光美術館

参加者の声でつなぐ
公民館の教室・講座紹介

⑧とんぼ玉教室(小林公民館)

小林公民館では、11月5日(土)・6日(日)の2日間、とんぼ玉教室を開催しました。工房「風」の浅見重正さんが講師を務め、とんぼ玉の作り方を分かりやすく丁寧に指導してくれました。とんぼ玉は、穴の開いたガラス玉のことです。ガスバーナーでガラス棒を溶かし、鉄芯に巻きつけ、回しながら玉を作ります。次に、玉に細いガラス棒などで花模様を描いたり、熱と重力を利用してマーブル模様を作ったりします。そして、とんぼ玉ができたら、鉄芯ごとから灰の中に入れよく冷やします。参加者は、出来たてのとんぼ玉でストラップやネックレスを制作しました。



見本から自分の作りたい形や模様を選びます



花模様挑戦! 講師の浅見さん



自分好みの作品ができました

香さん(瀬川)にお聞きしました。
Q 教室に参加した理由は何ですか。
A もともとガラス製品が好きで、とんぼ玉も自分で作ってみたいと思っていたからです。
Q とんぼ玉のどんなところが好きですか。
A 形や色、模様もさまざま同じものが二つとないことです。
Q 教室に参加した感想を聞かせてください。
A 難しかったけれど、とても楽しかったです。自分で色や模様を選び、希望どおりの作品が作れて満足しています。初めての作業に戸惑いながらも、出来上がった自分の作品を手にとると、皆さん笑顔になり目をキラキラ輝かせていました。

市民文芸

川柳 選者 山本 都留米

軒先の洗濯ものも三世代 青木照雄
花火の夜露店においてに足停まり 植田義雄
茸狩り毒と食用捜し分け 白戸武夫
顔のしわ長寿の証抛気にしない 渡辺春男
信仰はないけど毎年クリスマス 石川ミネ子
子沢山ツリー飾って大はしやぎ 岩崎節子
クリスマス今度は孫からプレゼント 篠原芳子

俳句 選者 伊藤 清

子猫鳴く空き家の壁の葛紅葉 渡辺ミチ子
木屋の香にしばし酔ふ夫といて 鈴木キヌ子
夕食とき向こう三軒秋刀魚焼く 櫻沢総一
船頭の渋き唄声紅葉狩 星 陽子
十月や出雲に神は集いける 福田美代子
野分あと貴婦人映す水鏡 松本武久
秋澄むやローカル線に身をゆだね 斎藤愛華

歴史民俗資料館通信

日光市中央町29-1(市図書館隣) ☎226217
開館時間 午前9時～午後6時(入館無料)
休館日 毎週月曜日、祝日

◆企画展紹介⑤

日光市の貴重な絶滅危惧植物

世界では一日に100種もの野生動物が絶滅しているといわれています。その最大の原因は、乱獲や開発など人間による環境破壊です。そこで環境省と栃木県では、自然との共生や保護について考えてもらうため、絶滅の恐れのある野生動物の種名や絶滅の危険度を記載した「レッドリスト」を定期的に作成し、公表しています。

■カラノギク(キク科)



日光市内には20種ほどの絶滅危惧植物があります。これらの植物を紹介するので身近にある貴重な植物に目を向けてみてください。
日当たりのよい河原に生える多年草のキクで、10月11月に白が薄紫色の花を咲かせ、鬼怒川、多摩川、相模川の3水系のみで生育が確認されています。今市の自然を

知る会と市民の手により大谷川で植栽活動が続けられています。
□環境省：絶滅危惧ⅠB類(絶滅の危険性が高いもの)
□栃木県：絶滅危惧Ⅱ類(絶滅の危険が増大している)
■シモツケコウホネ(スイレン科)
小代の水路に見られるコウホネの一種で、2006年に新種登録された栃木県の固有種です。葉は常に水の中に沈んでおり、6～9月に黄色の花を咲かせます。地元シモツケコウホネと里を守る会などが保護活動を行っています。
□環境省：絶滅危惧ⅠA類(絶滅の危険性が極めて高いもの)
□栃木県：絶滅危惧Ⅰ類(絶滅の危機に瀕している)



◆企画展「日光市の貴重な絶滅危惧植物」
12月3日(土)～1月29日(日)

短歌 選者 阿久津伸一

線量値いかばかりかは知らねども子等の影なき児童公園 名古屋佳子
柿の実は味の重さも加わりてぶらりゆらりと背丈に届く 福田きくい
穂を拾う唄の姿一人にて日陰に霜の残る棚田に 池田三大
台風になぎ倒されし川中の芦立ち直る水の澄み来て 白戸武夫
山も野も嫁ぎしまの六十年時の流れは地名変えおひ 山越あきの
天高く香り漂う木屋の季節を惜しむころろぎの声 大森トミ子
我が家より共に従き来し白萩はホームの庭にいまさかりなり 赤羽根よ志

作品を募集しています!

川柳・俳句・短歌を募集しています。氏名(ふりがな)、住所、電話番号を明記して、郵送またはFAX、メールでご応募ください。
なお、作品中の漢字には、ふりがなを明記してください。
応募先及びくわしくは
秘書広報課 広報広聴係
☎(21)5135 FAX(21)5109